

みえ森林・林業アカデミー設置・運営事業

平成 30 年度～

野々田稔郎・竹本達男・樋口大輔

県内の多くを占める中山間地域の振興には、主要産業である林業の活性化が不可欠であり、次代の林業を担う人づくりが重要課題となっている。このことから、有識者や林業・木材産業関係者からなる検討会を設置して、森林・林業のあるべき姿と、その実現に必要な人材像や育成方法等について議論し、平成 29 年 3 月に「三重県林業人材育成方針」を策定した。この方針では、三重県の実情に合わせた、中山間地域の活性化を担う林業人材の育成や、三重県の林業大学校として「みえ森林・林業アカデミー」のあり方をまとめた。

この方針や県内業界などから意見や要望の聞き取りを重ね、新たな林業人材育成機関「みえ森林・林業アカデミー」を平成 31 年 4 月に本格開講の準備を進める。

1. 林業人材育成推進事業

みえ森林・林業アカデミーの平成 31 年 4 月の本格開講に向け、具体的なカリキュラムの作成、講師人選などを行うとともに、拠点施設となる三重県林業研究所内の既存施設の改修など、受講生の受入体制を整え、基本 3 コース（ディレクター、マネージャー、プレーヤー）の受講生を募集し、のべ 31 名（実人数 30 名）の受講生を決定するとともに、市町職員講座の募集、選択講座のカリキュラム作成を行った。

また、オール三重でアカデミー運営をサポートする「みえ森林・林業アカデミー産学官連携協議会」を 9 月に設立したほか、12 月に三重大学大学院生物資源学研究科との連携協定締結を行うなど、運営支援体制を整備した。

2. 記念シンポジウム

アカデミーの趣旨などを広く県民に周知することを目的に、プレ開講イベントとして、「次世代を担う林業等の人材の育成と中山間地域の振興」をテーマとした記念シンポジウムを 10 月 8 日に開催した。このシンポジウムには、定員 200 名を超える 250 名の参加があった。

3. 公開講座

実際にアカデミーで実施する講座の一部を体験できる機会として、公開講座を県内各地で 5 回開催した。5 回の講座では、主に林業関係者等（主にアカデミー受講者）を対象に、「森林資源の新たな活用」、「持続可能な森林と社会」、「木材流通の革新」、「森林計測の新たな技術」、「都市の木造・木質化と販路拡大」などをテーマとし、各回とも定員を超える参加者があった。

4. 低コスト林業を考えるワークショップ

素材生産用の増大を図るための主伐と再生林を適正に行うことで、森林資源の循環利用を促進するため、林業に携わる方と現状と課題などについての意見交換を行い 32 名の参加があった。